FREE THE CHILDREN

International Day of the Girl Child

国際ガールズ・デー

10/11

2011年に国連総会で定められた、女の子の権利と女の子が直面する特有の困難について考えるための記念日です。

世界の女の子が抱える問題

あなたには当てはまりますか？

- 女子のほうが面倒を見てもらえず、5歳まで生き延びることが難しい。
- 女の子のほうが学校に通うことが難しく、読み書きもできない。
- 女の子は10代で結婚させられ、早すぎる出産で命を落とすこともある。
- 女の子のほうが仕事を選べず、政治に参加することもできない。

なぜ、女の子が？

女性は稼ぎが悪いというイメージや、女の子が結婚する時には「持参金」を持っていくという伝統があり（多く国で法律では禁止されている）、家計の負担となるため、お腹の子が女の子だと分かるとお腹の中で殺されてしまったり、生まれても面倒をみてもらいにくい。

女の子は学校に行かず、家事労働をするという考えがある

写真は、親の手伝いで一日中タバコを巻く女の子たち。

上記の問題に当てはまった人はほとんどいないと思いますが、日本にも大きな問題があります。
それはジェンダーギャップ。2024年の男女平等指数を見てみると、日本は146ヶ国中なんと118位。
経済や政治だけではなく、身の周りのあらゆる分野でジェンダー格差がまだまだ残っているのです。

引用・日本語版概要：内閣府 男女共同参画局HP「男女共同参画に関する国際的な指数」

どうしたら、解決できるの？

立場の弱い世界の女の子、多くのジェンダー格差に直面している日本の女の子。
この課題を解決するには、どうしたらよいでしょうか？　あなたの考えを書き出してみよう。

もっと国際デー！

関連情報を調べてアクションをおこしてみよう！

FTCJはあなたの好きなこと・特技を活かした国際協力をおすすめしています。 あなただからこそできる国際協力を一緒に探しませんか？全国のメンバーが様々なアクションを起こしています。アクションのヒントはコチラで検索！

FTCJ 活動ヒント　検索

©認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

最終更新：2024年6月12日